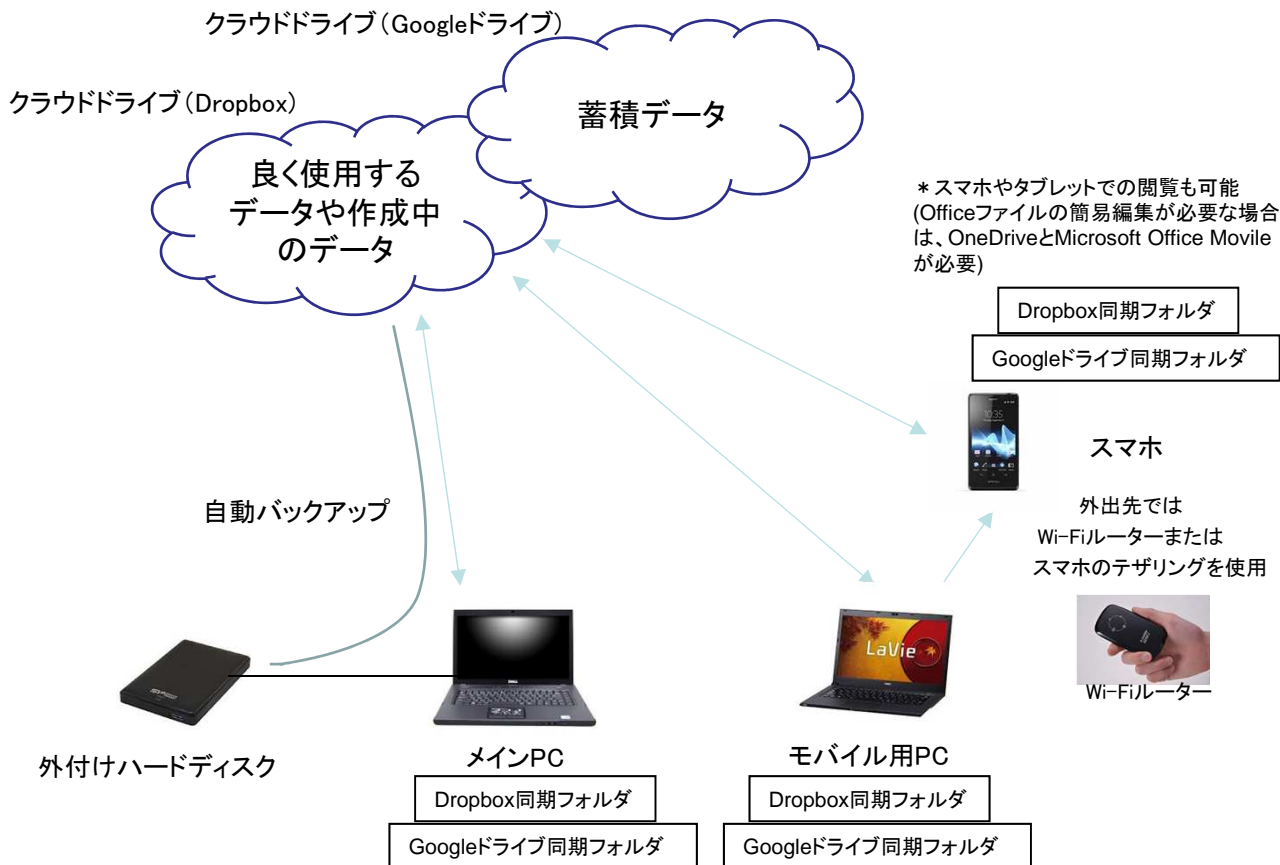


クラウドドライブの利用イメージ

改訂日: 2014年5月23日



複数のPCで、同じ重要データを利用する場合はクラウドドライブが一番便利です。
ネットさえつながれば、どこからでもクラウドドライブにアクセスできます。
クラウドドライブ内の重要データは万が一に備え、外付けハードディスク等に自動バックアップする事をお勧めします。
取りあえず無料で試してからお使いになる事をお奨めします。無料容量の初期値はDropboxが2GB、Googleドライブが15GBですので、上記イメージ図の様な使い分けをしてみるのも良いかと思われます。

【クラウドドライブ導入時の留意事項】

インターネット接続回線スピードが極端に遅いと、同期に時間がかかります。下り速度だけではなく、上り速度も大切です。固定回線は光やケーブルTV、モバイル回線はLTEがお奨めです。クラウドドライブの同期速度は1Mbps程度ですので、1Mbps以上の速度があれば取りあえず使用可能です。

【その他】

外出先でのモバイルPC利用にはWi-Fiルーターあるいはスマホのテザリングが必要となります。Wi-Fiルーターやスマホのテザリングは、ご自宅の回線がトラブルでつながらない時に、代替回線としても利用できます。
クラウドドライブは同期フォルダですので、回線が繋がってなくても利用できます。この場合、回線復旧時にクラウドとパソコン内のデータが同期されます。(OneDriveの仮想ドライブを除く)